



TITLE:

静脩 Vol. 21 No. 1 (1984.6) [全文]

AUTHOR(S):

---

CITATION:

静脩 Vol. 21 No. 1 (1984.6) [全文]. 静脩 1984, 21(1)

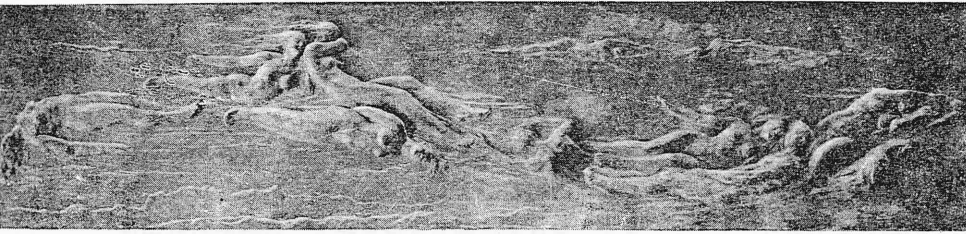
ISSUE DATE:

1984-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/65981>

RIGHT:



# 静脩

1984年 6 月

The Kyoto University Library Bulletin

Vol. 21, No. 1

## 御 挨 拶

附属図書館長 西 原 宏

このたび、4月2日付で附属図書館長に就任いたしましたので、御挨拶を申し述べます。前館長の高村仁一先生は、京都大学の長い間の夢の一つであった美しい装いと豊かな機能を具えた図書館を完成されました。そして伝統を誇る京都大学のアカデミズムが一層の光彩を放つのに新しい図書館を役立て、それに伴って鮮明な図書館像を確立することを、図書館職員の努力の目標として遺されたのでありますが、その具体化の道は決して容易ではないと覚悟いたしております（『京大広報』号外、1984.4）。各位の御理解と御支援を心からお願いする次第であります。

附属図書館のあり方については、昭和39年に創刊されて以来の『静脩』の各号に、数々の提言や要望が寄せされており、読み返してみても感銘を受けるものが少なくありません。堀江保蔵館長は「創刊のことば」のなかで、「蔵書のための図書館から利用者のための図書館へ、ここに大学図書館近代化の基本的な問題がある。この問題の解決には利用者側の理解と協力が絶対に必要である。例を指定書にとって見ても、これは教官の学生に対する学習指導上の事柄であって、図書館はそれに協力する立場にある。一般に文献・資料を蒐集整理し、情報活動を活潑にして、積極的に利用者に奉仕しうる態勢を整えることは図書館の仕事で

あるが、この仕事は、個々の教官、各教室、各部署の理解と協力を得て、はじめて完全なものになる」と書いておられます。図書資料の選定、収書については、堀江先生のお言葉の精神を継承したいものと考えます。

創刊後まだ間もない昭和41年には、舟岡省吾名誉教授（故人）が「文献検索の機械化を望む」のなかで、「斯様な図書館（医学図書館のこと）が新設されるに至った意義の一つとして、若い学徒の文献検索の修練道場が狙い所であろう。今日の訪問者がやがては卓越した研究者に、又は実地医家に育成し、今日の努力が後日偉大な業績の完成の基となるのが望まれているに違いない。然し私が目撃する所は若い研究者が不慣れな文献渉猟に非常な努力と貴重な時間を消費している事実である。若し適当な方法が工夫されて是等の若い人々に文献渉猟の便宜を計ることができれば、鋭気の青年研究者の貴重な時間を節約し得、実験になり、臨床観察になり、又は実験成績の整理なりに振り向けることができる。こんな効果を期待するためには種々の方法があるだろう。その一つとして最近注目されてきた電子計算機の利用を考えてみては如何？」と電子計算機の導入を提案しておられます（『静脩』Vol. 2, No. 5）。先生はさらに、文献複写のサービスを加え、図書館活動を日本全

国は言うに及ばず世界に拡大することを提言されたのであります。附属図書館は、先生が年来の希望を述べられてから20年近い歳月を経て、漸くその方向に整備されつつあります。

湯川秀樹先生(故人)は、『静脩』の同じ号に「勉強すること」と題する一文を寄せられ、先生が大正15年の春、京都大学に入学されて最初に感じられたのは「いかにも大学らしい静けさであった」そしてそれから40年たって「学生数は何倍かになり、新しい建物が次々とできていった。空地も少なくなった。人の往来も激しく、建築工事の騒音も絶えない。このように変貌してゆく大学の中で、精神を集中させることは容易でなくなった。今の学生諸君は気の毒だと思う」と書いておられます。そして、「京大の付属図書館もずいぶん立派になり、便利になった。何はともあれ、学生時代に勉強しておくことである」と結んでおられるのであります。先生がこの文をお書きになってから18年以上経ちましたが、「人の往来」を「車の往来」と読み替えれば、そのまま今日のことを言っておられるように思えてなりません。新しい図書館の閲覧室が大学らしい静けさを保ち、そのなかで学生諸君が勉強に集中できることを心から願っ

て止まない次第であります。

さて、新しい図書館には、教育・研究の支援機構としての任務を積極的に果たすために、充実した施設と、利用上の様々の工夫が用意されております。すなわち、学生を中心とした学習図書館としての役割に加えて、研究図書館、保存図書館および総合図書館としての機能充実が図られております。具体的に例を挙げますと、全学的な計画に基づく高額参考図書の集中配置、バックナンバーセンターの設置、化学系新着雑誌の集中配置、国内外の主要図書館の所蔵する文献資料の提供、テレックスによる研究情報の交流などであります。さらに今年度中には、新しい電子計算機を導入して、全学的な図書館情報処理センターとしての機能を具えるとともに、東京大学文献情報センターと連繋して、全国的な学術情報システムの一環として図書館活動の総合化をはかり、また地域センターとしての役割を果たすことになる予定になっております。各位におかれましては、教育・研究の支援機構としてのこの図書館を十分に御活用頂きますよう、お願い致します。以上をもって就任の御挨拶にかえさせて頂き度いと存じます。

## 閲覧・貸出業務について

新しい図書館の2階全スペースを占める開架閲覧室には、現在約4万冊が配架され、利用者が探し出した資料を手近かな席で自由に読むことができる「完全開架制」がとられています。4月の新館開館と同時に、この開架図書を簡単な手続きで館外にも貸出しができるよう、電算機による貸出処理を始めています。これによって、本年4月の貸出冊数が、昨年同月の約2倍になったにもかかわらず、貸出・返却処理がスムーズに行われています。以下、電算化により、運用上変更になった事柄を中心に閲覧・貸出手続等についてご紹介いたします。

### 1) 貸出冊数と期間

図書の貸出冊数と貸出期間は下表のとおりです。

	開架図書		庫内図書	雑誌	庫内図書及び雑誌貸出可能冊数 (計)
	冊数	期間	期間	期間	
教 官	5 冊	2 週間	1 か月	2 日	30 冊
名誉教授、院 生、事務官	5 冊	2 週間	1 か月	2 日	10 冊
学 部 学 生	5 冊	2 週間	2 週間	2 日	5 冊

上記以外の者についても、それぞれ貸出冊数、期間が定められています。

なお、返却期限日が休館日に当る場合には、その翌日まで延長されます。

## 2) 利用証の交付

図書館を利用するには、図書館利用証（ＩＤカード）が必要です。まずメインカウンターで利用

証交付登録票（図－１）に必要な事項を記入し、利用証（図－２）の交付を受けてください。利用証交付には若干の日数を要しますので、ご了承ください。

京都大学附属図書館利用証交付登録票

※ 受付 №  
交 付 19 年 月 日  
有効期限 19 年 月 日

※  
① 利用証番号  
学生証又は職員証番号

氏 漢 字  
名 カ ナ  
姓と名の間は1字あける。濁点・半濁点は1字とする。

④ 郵便番号  
⑤ 現住所 (カナ記入)  
⑥ 電 話  
下指先まで記入

⑦ 部局コード  
右A欄のコード番号を記入  
⑧ 身分コード  
右B欄のコード番号を記入  
⑨ 入学年度 1 9  
職員は申請年度

⑩ 学内連絡先 (内線)  
病院は19-XXXX, 学治は17-XXXXと記入

備考  
注意 ●裏面の注意事項を参照してください。  
●※印は記入しないでください。

該当する数字にチェックしてください

コード	部 局 名	コード	部 局 名	コード	部 局 名
01	文 学 部	17	環境保全センター	37	ウイルス研究所
02	教 育 学 部	18	情報処理教育センター	38	経 済 学 研 究 所
03	法 学 部	19	放射線生物研究センター	39	基礎物理学研究所
04	経 済 学 部	20	大型計算機センター	40	数理解析研究所
05	理 学 部	21	東南アジア研究センター	41	原子炉実験所
06	医 学 部	22	医用高分子研究センター	42	霊長類研究所
03	医学部附属病院	23	超高電圧波研究センター	50	図 書 館
09	薬 学 部	25	医療技術短期大学部	51	施 設 部
10	工 学 部	30	化学研究所	52	庶 務 部
11	農 学 部	31	人文科学研究所	53	経 理 部
12	農学部附属農場	32	結核胸部疾患研究所	54	保 健 診 察 所
13	農学部附属演習林	33	電子エレクトロニクス研究所	55	保健管理センター
14	教 養 部	34	木材研究所	56	学 生 部
15	ヘリオトロン核融合研究センター	35	食糧科学研究所	57	体育指導センター
16	放射性同位元素総合センター	36	防災研究所		

コード	身 分	コード	身 分	コード	身 分
01	教 官	05	非常勤職員(その他)	07	受 託 研 究 員
02	非 常 勤 講 師	06	大学院生(修士)	07	民間等共同研究員
02	医 員	06	*(博士)	07	農畜改良普及員受託研修生
02	研 修 医	07	大学院聴講生	07	ユネスコ国際大学院研修講座研修生
02	外 国 人 教 師	07	大学院特別聴講生	07	外国人受託研修員
02	外 国 人 講 師	07	大学院特別研究生	07	日本学術振興会流動研修員
02	外 国 人 研 究 員	07	京都大学研究生	08	医学部学生
02	招へい外国人学者	07	京都大学研修員	09	学 部 学 生
02	外国人共同研究者	07	文部省内地研究員	10	医療系短期大学部学生
03	名 誉 教 授	07	情報処理関係内 地 研 究 員	11	学 部 聴 講 生
03	定 年 退 職 教 員	07	産業教育内地留学生	11	受 託 実 習 生
04	事 務 官	07	特殊教育内地留学生	11	研 修 生
04	技 官	07	日本学術振興会奨励研究員	12	卒 業 生
04	用 務 員	07	私 学 研 修 員	12	そ の 他
04	技 能 員	07	専修学校研修員		
04	非(非常勤職員)	07	公立大学研修員		

(表)

(裏)

(図－２)



この利用証は、図書館1階の自動入館機を通過する際と、図書館の資料の貸出しや入庫検索などの手続きの際に必要です。利用証を紛失したときは直ちに、メインカウンターにお申し出ください。掛員が、紛失した利用証の無効処理と新たに再発行するための手続きを行います。また、登録時に記入された事項を変更する必要があるときや、利用証が傷ついて使用できなくなった場合も、メインカウンターに申し出てください。利用証番号を変更する必要のない場合（例えば氏名、住所、所属部局の変更など）は、その日、または翌日に新しいものを交付することができます。

### 3) 図書IDラベル

開架図書には、すべて10桁の数字が印刷された図書IDラベル(図-3)が、貼付されています。この10桁の数字は、機械処理する際、図書を同定するために与えられた番号です。



(図-3)

### 4) 開架図書の利用

#### ①借用手続

開架図書を借用するときは、借用しようとする図書に利用証をそえて、メインカウンターに提出してください。従前のように貸出票に書名、著者名、請求記号、貸出年月日、氏名、身分、所属部局などを記入する必要はありません。掛員が、OCR（光学式文字読取）ハンドスキャナーにより、利用証に印刷された9桁の数字と、図書IDラベルの10桁の数字を読み取らせます。これで貸出手続はすべて終了です。

#### ②返却手続

借用した図書を返却するときは、メインカウンターに返却してください。利用証を呈示する必要はありません。また、閉館時でも図書を返却する

ことができるよう、図書館入口に返却ポストを置きますので、これに入れてください。翌日、掛員が「返却は前日に行われたもの」として返却処理します。

#### ③借用更新手続

借用中の図書を引き続き借用したいときは、その図書をメインカウンターに呈示し、その旨申し出てください。他の利用者から予約がなければ、1回（2週間）に限り更新することができます。

#### ④返却延滞の取扱い

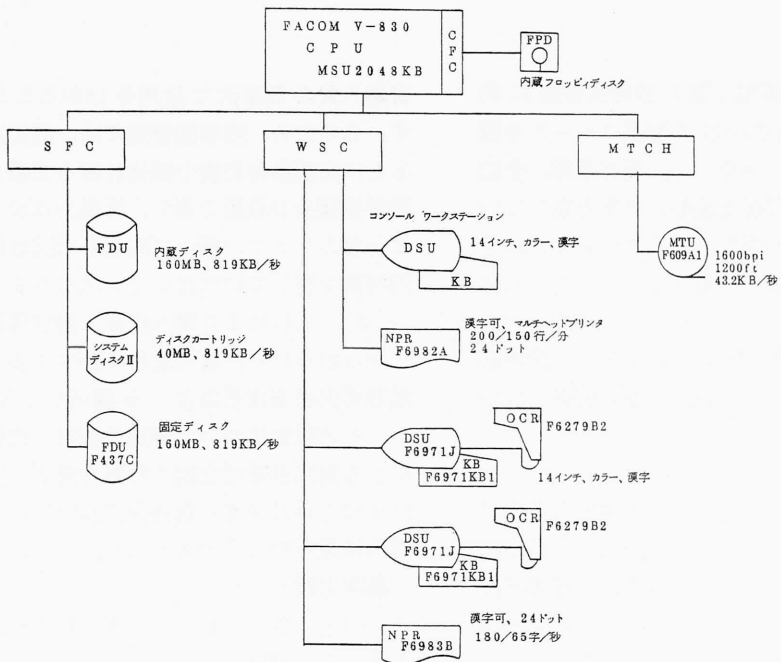
開架図書を借出して、期間がすぎても、返却しないとその後の貸出しが停止されます。ただし、貸出停止には7日間の猶予期間を設けています。この間は、貸出冊数5冊の範囲内で貸出しすることができます。雑誌については、借用期間（2日）を過ぎて返却していなければ、その後の雑誌の貸出しはできなくなります。詳しくはメインカウンターで掛員が説明します。

#### ⑤予約手続

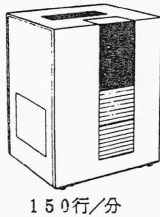
利用したい図書が館内に見あたらないときは目録カードや冊子目録により、登録番号や請求記号を調べ、メインカウンターに申し出てください。掛員が貸出状況を調べ、他の利用者に貸出されている場合、予約の手続を行います。予約した図書が返却されたときは、1階の掲示板に、その旨掲示します。予約した図書が返却されて1週間が過ぎて借用の手続がないときは予約は無効となります。

開架図書の貸出・返却システムの概要は以上のとおりです。なお、書庫内図書および雑誌の貸出しも順次機械化していく予定ですが、現在のところ従前と同様の方法により利用していただきます。不明な点はメインカウンターの掛員に遠慮なくおたずねください。

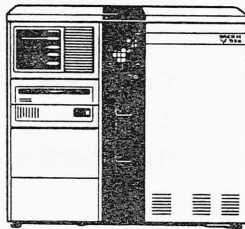
使用機器システム構成図



FACOM V-830  
日本語 プリンタ装置



中央処理装置



日本語センターワークステーション



磁気テープ装置



## 高額参考図書の整備について

附属図書館では、新館1階の参考図書室に約25,000冊(旧館では8,000冊)の配架スペースを設け、70席の閲覧座席を用意して、所在情報、書誌情報等を提供する参考調査機能の充実を期しています。特に、高額参考図書の購入については、全学的な措置により、その整備をすすめてまいります。

以下、この高額参考図書の収書に関し、全学的措置が講じられるに至った経緯と購入図書についてご紹介します。

### 〈経 緯〉

〔1〕 近年、書誌・目録・抄録・索引などの二次資料が著しく値上りしている状況にかんがみ、昭和57年7月、各部局の協力を得て、高額参考図書(概ね1件につき年間30万円以上)の収集・維持状況及び新規の購入希望等について調査いたしました。その結果、各教室、あるいは部局単位では、必要な資料の収集・維持がきわめて困難になっている状況が明らかになりました。

〔2〕 このような状況に対処し、本学として必要な資料を確保するには、各部局で維持困難なもの(を附属図書館(中央館)で収書し、共同利用することが必要となります。これにより全学的な図

書購入費の効率的な運用をはかることもできます。このため、附属図書館では、前記調査結果をもとに高額参考図書の整備計画を立案し、附属図書館商議会の承認を経て、評議会において全学的な合意のもとで、新たに高額参考図書購入費の学内措置を講じていただくことになりました。

〔3〕 これにより購入図書の選定等計画の具体化をはかるため、運営改善に関する委員会は、「高額参考図書選定委員会」を構成して原案を作成し、この原案について審議の結果、次の基本方針による高額参考図書購入計画を決定。次いで昭和58年11月18日開催の商議会において、この実施計画の承認を得たのであります。

### 〈基本方針〉

① 今後の資料の値上り(年々約7%, 5年間分)を見込んで選定する。

② 「値上り見込み分」は、バックナンバー等単品ものの購入にあてる。

③ 高額かつ利用部局が比較的少ないものについては、年間購入費350万円を限度とし、これを超える額については、当該部局の負担とする。(これは今回選定の特定の図書に対する措置)

## ◎附属図書館購入高額参考図書

### A. 索 引 誌

#### ① Arts Humanities Citation Index, 1977—

芸術・人文科学分野における1,000種以上の代表的雑誌の索引誌。論文、短報、覚書、会議抄録、討論記事、詩、小説、戯曲、楽譜、年表、書誌目録、映画作品のリスト等を含んでいる。

1977年から継続購入

#### ② Social Science Citation Index, 1972—

社会科学分野の1,500種以上の雑誌、及び自然科学、物理学、生物医学分野の2,900種の雑誌から、社会科学の研究に関連がある論文を検索できるようにしている。

1977年から継続購入

③ Science Citation Index, 1961—

自然科学研究者にとって、世界で最も重要な雑誌 3,200 種以上の文献を索引化しており、物理学、化学、医学、生命科学、工学・技術、農学、生物学、環境科学、行動科学等を含んでいる。

1961年から継続購入

④ Government Reports Announcement Annual Index.

米国政府及び政府関係研究機関の研究報告索引誌、生物、化学、電気、原子など科学技術全般を扱っている。

従来、月刊版のみを購入していたが、1979年からの年間累積索引版を新たに追加した。

⑤ Internationale Bibliographie der Zeitschriften Literatur. (IBZ)

1896年創刊になる全学問分野を扱った雑誌記事索引。約 8,000 種の雑誌に掲載された文献を著者及び主題により索引化している。ドイツ語の索引であるが、英語及びフランス語からも参照できる。

創刊号から所蔵

## B. 書 誌

① Bibliographic Guide to Government Publications.

米国議会図書館とニューヨーク公共図書館 (Research Libraries) が所蔵している政府刊行物の書誌。全ての言語と形態を含み、著者 (個人、団体、会議名等)、書名、件名 (主題) からアクセスできる。U.S. と Foreign とに分割されている。

② National Union Catalog Library of Congress Catalog

米国議会図書館所蔵のユニバーサルな総合目録。著作、人名の確認・書誌事項の確認、主題索引の検索による出版状況の調査等に利用できる。

1983年からマイクロフィッシュ版のみとなり、Books, Audiovisual 及び Cartographic の三部分を購入。

③ National Union Catalog, Pre-1956 Imprints.

米国議会図書館をはじめ、米国及びカナダの主要研究図書館等約 800 館が所蔵する蔵書のうち、1956 年以前に出版された文献についての情報を収録した、世界でも珍しい雄大なスケールの全 754 巻 1,200 万タイトルにのぼる総合目録。

## C. 百科辞典

① Энциклопедический Словарь Т-ва „Б. А. и И. Гранатъ и К-

帝政時代末期から革命後まで (1910~1948年) 刊行を継続したソビエトの百科事典。項目は一般に小項目及び中項目であるが、1 項目、数十ページにわたるものも少なくない。特定の主題に関する書誌を多く含んでいるのが特徴。

② Zedler, J. H.. Grosses vollständiges Universallexikon aller Wissenschaften und Kunste. 64 Bde. Leipzig/Halle, 1732-1750 and suppl. vol. 1751-1754. Reprint 1961-64.

ドイツにおける百科事典編纂史の起点をなすものとして、1732年から約20年間をかけて出版された世界でも最も代表的な百科事典。(昭和58年度購入)

#### D. ハンドブック

① Beilsteins Handbuch der Organischen Chemie. 3/4, 4 Auflage

有機化合物に関する研究成果の集大成で、学術文献中に記載されたあらゆる炭素化合物の製法とその特性等が、一定期間ごとに収集、編集されている有機化学便覧。

② Gmelin Handbook of Inorganic Chemistry. 8th ed.

1817年 Gmelin, L. の創刊になる無機化学分野で最も著名な便覧。システム番号順に編成され、各記述は歴史、産出、調製法、用途、特性、工業的製法等々について、重要な情報をまとめている。

#### E. データ集

① 有価証券報告書総覧、第一部上場

東京、大阪、名古屋の各証券取引所の第一部に上場された1,075社の決算報告書。この資料により会社の概況、事業の概況、営業・設備・経理の状況、親会社及び子会社に関する事項が調査できる。

② Landolt-Börnstein, Numerical Data and Functional Relationships in Science and Technology. New Series.

物理学を中心とする自然科学諸分野の主要な実験データ、基礎的データの解説、その他の資料を6部門のグループに分けて網羅し、収録している。

③ Sadtler Standard Spectra.

世界的に有名なサトラー研究所(アメリカ)が刊行している機器分析に関する標準スペクトル集。

a. Infrared grating 赤外分光分析(回折格子)

Last Spectrum No. 65000K

b. Infrared prism 赤外分光分析(プリズム)

Last Spectrum No. 65000.

④ 高速液体クロマトグラフィー・データ集

無機化学、有機化学、合成分子化学、生物化学および天然物有機化学、医学、薬学、食品化学、農学、工業化学、環境化学に関する液体クロマトグラフィーのデータ集(昭和58年度欠号補完)

#### F. 統計書

① 世界農林業センサス 農業集落カード 1980年版 マイクロフィッシュ。47都道府県

わが国農村・農業の実態を最小地域単位である“農業集落、ごとに多くの指標(農業集落の社会構成、農業生産構造、農家の経営基盤、農業生産の動向、農村の生産振興状況、農村の生産基盤、生活環境条件等)についてのデータが収められている。(昭和58年度購入)

② 統計集誌 創刊号～382号(明治13年11月～大正元年12月)

明治期日本の姿を客観的・公正に語る最も基礎的な資料。内容は人口、土地、経済、司法、宗教、教育、軍事等多方面にわたっている。(昭和58年度購入)

#### G. 規格集

① J I S (日本工業規格) 全収版

(社)日本規格協会が刊行している日本工業規格集。月1回程度、新規制定、改正、廃止など、最新情報を提供するための追録が出されている。(昭和58年度購入、ただし、※印は昭和59年度購入予定)

〈購入部門〉

※A:土木・建築    ※B:機 械    ※C:電 気    D:自動車    E:鉄 道    F:船 舶  
※G:鉄 鋼    ※H:非鉄金属    K:化 学    L:織 維    M:鉱 山    P:パルプ・紙  
R:窯 業    S:日用品    T:医療安全用具    ※W:航 空    Z:一般・その他

## H. 各国の出版目録

①アメリカ ②イギリス ③ドイツ ④フランス ⑤ソビエト ⑥カナダ ⑦イタリア ⑧インド  
⑨アフリカ ⑩日本 ⑪その他

## I. 国際機関刊行物

O E C D刊行物

O E C D (経済協力開発機構)は「国際経済協力を基本理念とし、新しい世界秩序を構築しつつ、自由貿易の拡大と全人類の生活向上をめざして」組織された国際機関である。

出版物の内容は、経済、エネルギー、労働市場、社会問題、科学、技術、多国籍企業、税、教育、環境、都市問題、工業、農業等多方面に及んでいる。

1983年の出版数、図書：108冊、雑誌：16種。

### ◎59年度から新たに購入する予定の高額参考図書。

1. Excerpta Medica (complete subscription)
2. Historical Abstracts. pt. A-B.
3. Physics Abstracts.
4. Biologocal Abstracts/RRM/Bioscience Information Service (RRM=Reports, Reviews & Meetings)
5. Current Contents.
  - a: Agriculture, Biology and Environmental Science.
  - b: Arts and Humanities.
  - c: Clinical Practice.
  - d: Engineering, Technology & Applied Science.
  - e: Life Sciences.
  - f: Physical, Chemical & Earth Science.
  - g: Social & Behavioral Sciences.
6. 国際連合・国際機関及び主要国統計
7. Bibliothèque Nationale: Catalogue general des livres imprimés.
8. Chemical Abstracts. Collective Index. 11th ed. (1987年刊行予定)

## 化学系雑誌等の集中配置について

新しい図書館では、図書館資料の全学的な共同利用をはかることを重要な方針として、各部局で維持困難な高額参考図書の購入やバックナンバーセンターの設置による雑誌の共用を行ないますが、本稿で述べる化学系雑誌等の集中配置もその一つであります。

この化学系雑誌等の集中化は、このたび新館が完成したのを機に、工学部図書室及び工学部化学6教室※の全面的な協力を得て実現することになったものであります。以下、その概要をご紹介します。

※ 工業化学、石油化学、化学工学、高分子化学、合成化学及び分子工学の6教室

### 1. 受入れの対象となる雑誌

附属図書館に受入れる雑誌は、工学部が学部共用として購入した外国雑誌（以下「共通雑誌」という。）108誌、並びに化学6教室がそれぞれ購入した雑誌（以下「化学系雑誌」という。）154誌です。別紙リストをご覧ください。共通雑誌は、本学内に重複のない欧文雑誌です。

### 2. 受入れ雑誌の配架場所

共通雑誌及び化学系雑誌は、原則として次の区分により配架します。

区 分	配 架 場 所	
	共通雑誌	化学系雑誌
1 新着誌（最近1年分を含む）	1 階 雑誌閲覧室	1 階 雑誌閲覧室
2 約10年分のバックナンバー（製本したもの）	地下1階 書 庫	地下1階書庫
3 上記2以前のバックナンバー（製本したもの）		地下2階 バックナンバーセンター

ただし、バックナンバーは、その利用度を勘案し、各雑誌ごとに年次を定めて収納するなど、弾力的な運用をはかります。

これにより利用したい雑誌の約80％程度は、1階の雑誌閲覧室で、直ちに入手できると期待しています。入手できない資料については、地下書庫で検索していただくか、若しくはメインカウンターの掛員にお問合せください。

なお、Chemical Abstracts (C.A.), Chemische Berichte, Journal of the American Chemical Society (J.A.C.S.), Journal of the Chemical Society (J.C.S.), Journal of Organic Chemistry (J.O.C.) 等のように利用者が多数で、バックナンバーも長期にわたって利用されるものについては、可能な限り1階雑誌閲覧室に配架します。

### 3. 受入れ雑誌の配架方式

原則的には、附属図書館が購入している雑誌とともに、アルファベット順に配架します。附属図書館としては、利用頻度の高い雑誌をできるだけ、アクセスしやすい状態で全学の利用に提供できるよう努力する考えであります。

### 4. 利用方法

#### (1) 目録検索

メインカウンター 備付けの新着雑誌リスト、雑誌目録、1階雑誌閲覧室の書架側面に貼付してある書架リストをご覧ください。

#### (2) 閲覧・貸出

手近かな閲覧席で自由にお読みください。借用を希望される方は、メインカウンターで所定の手続きをとってください。

#### (3) 入庫検索

書庫内の雑誌は、メインカウンターで入庫手続きのうえ利用してください。

#### (4) 文献複写

コピーのため雑誌を館外に持ち出される際には、メインカウンターの貸出簿に記入してください。工学部教職員の方が、4階に備付け



のゼロックスを利用して書庫内の雑誌を複写される場合も同様です。なお他部局教職員用のゼロックスの設置については検討中です。

#### 《化学系雑誌等受入れの意義と効果》

世界的な化学抄録誌 Chemical Abstracts の文献収録数は、1984年4月現在、1,000万件を突破し、年間50万件が増加するとも言われています。このことから明らかなように、自然科学、特に化学の分野で発表される論文数は膨大なものです。このような論文を収録した化学系の欧文雑誌は理学、医学、薬学、工学及び農学等の各分野で共通に利用される資料ですが、定評のあるものは、高額なうえに、年々、著しく値上りし、教室

・講座(部門)単位ではもちろん、部局単位でも継続購入することが非常に困難になってきています。そこで学内における重複購入を避け、附属図書館に置いて全学的利用をはかることが望ましいのであります。

今回の化学系雑誌の受入れについては、工学部が、その購入経費を負担し、整理要員を配置されています。附属図書館としましては、従来、手薄であった自然系の一次資料を図書館の資料として受入れ、これを大量に配架して広い範囲の利用者の閲覧に供することができるという意味において、これまでにない図書館機能の充実が達成され、誠に有意義な事業であると受けとめている次第であります。

#### 共通雑誌及び化学系雑誌リスト

##### A. 共通雑誌

1. American Ceramic Society Bulletin
2. American City and County
3. Applied Energy
4. Applied Optics
5. Applied Scientific Research
6. Archiv für Elektrotechnik
7. Automatic Monitoring and Measuring
8. Biophysical Chemistry
9. Boundary-Layer Meteorology
10. British Corrosion Journal
11. British Journal of Photography
12. Bulletin de L'Académie Polonaise des Sciences, Sàrie des Sciences Techniques
13. Carbon
14. Ceramic Abstracts
15. Chartered Mechanical Engineer
16. Chemical, Biomedical, and Environmental Instrumentation
17. Chemistry International
18. Cognitive Science
19. Computers and Education
20. Computers and Graphics
21. Dock and Harbour Authority
22. Ecology
23. Eisenbahntechnische Rundschau
24. Energy
25. Energy Sources
26. Engineering in Medicine
27. Environmental Pollution
28. Finishing
29. Fire and Materials
30. Fluid Phase Equilibria
31. Foundry Management and Technology
32. Futures : The Journal of Forecasting and Planning
33. Hansa
34. Harvard Business Review
35. Hyperfine Interactions
36. Industrie Anzeiger
37. Industrie Minérale
38. Inorganica Chimica Acta
39. International Journal of Heat and

- Fluid Flow
40. ISA Transactions
  41. Izvestiia Akademii Nauk SSSR,  
Energetika i Transport
  42. Journal de Chimie Physique et de  
Physico-Chimie Biologique
  43. Journal de Mécanique Théorique et  
Appliquée
  44. Journal of the American Ceramic  
Society
  45. Journal of the American Oil  
Chemists' Society
  46. Journal of Biomechanics
  47. Journal of Computer Based Instruc-  
tion
  48. Journal of Electronic Materials
  49. Journal of Engineering Physics
  50. Journal of Enviromental Systems
  51. Journal of Food Technology
  52. Jourlal of Information Science
  53. Journal of Mechanical Working  
Technology
  54. Journal of Non-Equilibrium Thermo-  
dynamics
  55. Journal of Research of the National  
Bureau of Standards
  56. Journal of Thermal Stresses
  57. Konstruktion
  58. Laser Focus
  59. Manufacturing Engineering
  60. Materialprüfung
  61. Materials Engineering
  62. Mathematics and Computers in  
Simulation
  63. Metal Construction
  64. Microprocessing and Microprogram-  
ming
  65. Mössbauer Effect Reference and Data  
Journal
  66. Naturwissenschaften
  67. Neue Bergbautechnik
  68. Nonlinear Analysis
  69. Nouveau Journal de Chimie
  70. Numerical Functional Analysis and  
Optimization
  71. Organic Magnetic Resonance
  72. Organic Mass Spectrometry
  73. Organometallics
  74. Österreichische Ingenieur-Zeitschrift
  75. Österreichische Wasserwirtschaft
  76. Physics in Medicine and Biology
  77. Polymer Engineering Reviews
  78. Polymer-Plastics Technology and  
Engineering
  79. Powder Metallurgy International
  80. Precision Engineering
  81. Precision Metal
  82. Proceedings of the Institute of  
Mechanical Engineers
  83. Process Engineering
  84. Pure and Applied Chemistry
  85. Quality Progress
  86. Quarterly Journal of Economics
  87. Remote Sensing of Environment
  88. Resources and Conservation
  89. Science of the Total Environment
  90. Sheet Metal Industries
  91. Socio-Economic Planning Sciences
  92. Solar Energy
  93. Solar Energy Materials
  94. Staub-Reinhaltung der Luft
  95. Strasse und Verkehr
  96. Strassen und Tiefbau
  97. Synthetic Communications
  98. Technology Update
  99. Thermal Engineering
  100. Trends in Analytical Chemistry
  101. Verkehr und Technik
  102. Werkstattstechnik
  103. Zeitschrift für Analytische Chemie
  104. Zeitschrift für Anorganische und  
Allgemeine Chemie

105. Zeitschrift für Lärmbekämpfung
106. Zeitschrift für Physikalische Chemie
107. Zeitschrift für Physikalische Chemie,  
Neue Folge
108. Zhurnal Prikladnoi Khimii

#### B. 化学系雑誌

1. AIChE Journal
2. AIChE Symposium Series
3. Acta Polymerica
4. Ammonia Plant Safety
5. Analyst
6. Analytica Chimica Acta
7. Analytical Abstracts
8. Analytical Chemistry
9. Analytical Proceedings
10. Angewandte Chemie
11. Angewandte Chemie, International  
Edition
12. Angewandte Chemie, Supplement
13. Applied Macromolecular Chemistry  
& Physics
14. Australian Journal of Chemistry
15. Berichte der Bunsengesellschaft für  
Physikalische Chemie
16. Biopolymers
17. Biotechnology & Bioengineering
18. Biotechnonlogy & Bioengineering,  
Symposium
19. Bulletin of the Chemical Society of  
Japan
20. Bulletin de la Société Chimique de  
France
21. Canadian Journal of Chemical  
Engineering
22. Canadian Journal of Chemistry
23. Catalysis Reviews
24. Ceramic Forum International
25. Chemical Abstracts
26. Chemical Engineer
27. Chemical Engineering

28. Chemical Engineering Australia
29. Chemical Engineering Communications
30. Chemical Engineering Education
31. Chemical Engineering Fundamentals
32. Chemical Engineering Journal
33. Chemical Engineering Progress
34. Chemical Engineering Research &  
Design  
(Transactions of the Institution of  
Chemical Engineers)
35. Chemical Engineering Science
36. Chemical Physics Letters
37. Chemical Reviews
38. Chemical Society Reviews
39. Chemical Titles
40. Chemie-Ingenieur-Technik
41. Chemische Berichte
42. Chemistry in Britain
43. Chemistry & Industry
44. Chemistry Letters
45. Chemtech
46. Coal Processing Technology
47. Colloid & Polymer Science
48. Computers & Chemical Engineering
49. Current Abstracts of Chemistry &  
Index Chemicus
50. Current Chemical Reactions
51. Electrochimica Acta
52. Energy Progress
53. Environmental Progress
54. Erdöl und Kohle-Erdgas-Petrochemie
55. European Polymer Journal
56. Faraday Discussions of the Chemical  
Society
57. Faraday Symposia of the Chemical  
Society
58. Fuel
59. Fuel Processing Technology
60. German Chemical Engineering
61. Glastechnische Berichte
62. Helvetica Chimica Acta

63. Hydrocarbon Processing
64. Industrial & Engineering Chemistry, Fundamentals
65. Industrial & Engineering Chemistry, Process Design & Development
66. Industrial & Engineering Chemistry, Product Research & Development
67. Inorganic Chemistry
68. International Chemical Engineering
69. International Communications in Heat & Mass Transfer (Letters in Heat & Mass Transfer)
70. International Journal of Heat & Mass Transfer
71. International Journal of Multiphase Flow
72. Journal of the American Chemical Society
73. Journal of Applied Physics
74. Journal of Applied Polymer Science
75. Journal of Applied Polymer Science, Applied polymer Symposium
76. Journal of Chemical Education
77. Journal of Chemical & Engineering Data
78. Journal of Chemical Engineering of Japan
79. Journal of Chemical Physics
80. Journal of Chemical Research
81. Journal of the Chemical Society, Chemical Communications
82. Journal of the Chemical Society, Dalton Transactions
83. Journal of the Chemical Society, Faraday Transactions, I
84. Journal of the Chemical Society, Faraday Transactions, II
85. Journal of the Chemical Society, Perkin Transactions, I
86. Journal of the Chemical Society, Pekin Transactions, II
87. Journal of Chemical Technology & Biotechnology
88. Journal of Chromatography
89. Journal of Electroanalytical Chemistry & Interfacial Electrochemistry
90. Journal of the Electrochemical Society
91. Journal of Macromolecular Science, Chemistry
92. Journal of Macromolecular Science, Physics
93. Journal of Macromolecular Science, Reviews in Macromolecular Chemistry
94. Journal of Organic Chemistry
95. Journal of Organometallic Chemistry-
96. Journal of Physical Chemistry
97. Journal of Physics, Sec. E : Scientific Instruments
98. Journal of Polymer Science, Macromolecular Reviews
99. Journal of Polymer Science, Polymer Chemistry Edition
100. Journal of Polymer Science, Polymer Letters Edition
101. Journal of Polymer Science, Polymer Physics Edition
102. Journal of Polymer Science, Polymer Symposia
103. Journal of the Textile Institute
104. Justus Liebig's Annalen der Chemie
105. Loss Prevention
106. Macromolecules
107. Makromolekulare Chemie
108. Makromolekulare Chemie, Rapid Communications
109. Makromolekulare Chemie, Supplement
110. Melliand Textilberichte
111. Molecular Physics
112. Nature
113. Oil & Gas Journal
114. Oxidation Communications

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 115. Physicochemical Hydrodynamics   | 133. Textile Research Journal        |
| 116. Polymer   | 134. Verfahrenstechnik               |
| 117. Polymer Bulletin  | 135. Vysokomolekuliarnye Soedineniia |
| 118. Polymer Communications  | 136. ぶんせき                            |
| 119. Polymer Engineering & Science   | 137. 分析化学                            |
| 120. Polymer Journal   | 138. 学術月報                            |
| 121. Proceedings of the National Academy<br>of Sciences U.S. A.                                  | 139. 科学                              |
| 122. Proceedings of the Royal Society of<br>London, Ser. A : Mathematical &<br>Physical Sciences | 140. 科学技術文献速報 化学・化学工業編<br>(外国編)      |
| 123. Recueil des Travaux Chimiques des<br>Pays-Bas   | 141. 化学工学                            |
| 124. Reviews of Modern Physics   | 142. 化学工学論文集                         |
| 125. Rheologica Acta   | 143. 化学工業                            |
| 126. Rubber Chemistry & Technology   | 144. 化学と工業                           |
| 127. Science   | 145. 化学工場                            |
| 128. Synthesis : International Journal of<br>Methods in Synthetic Organic<br>Chemistry           | 146. 化学の領域                           |
| 129. Tetrahedron   | 147. 化学の領域 増刊                        |
| 130. Tetrahedron Letters   | 148. 化学総説                            |
| 131. Textile Horizons  | 149. 海外高分子研究                         |
| 132. Textile Progress  | 150. 高分子                             |
|  | 151. 高分子加工                           |
|  | 152. 高分子論文集                          |
|  | 153. 日本化学会誌                          |
|  | 154. 接着                              |

# 入館者利用統計

## <月別利用>

月	開館日数		入館者数			1日あたりの入館者数			備考
	計		昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	
4月	平日	15日	22,741人	4,431人	38,687	1,516人	295人	1,811人	最大 2,962人 23日(月)
	土曜日	2	1,515			758		758	
5月	平日	21	41,698	9,508	55,225	1,986	453	2,439	最大 3,081人 30日(水)
	土曜日	3	4,019			1,340		1,340	
計	平日	36	64,439	13,939	83,912				
	土曜日	5	5,534						

注) 昼間9:00～17:00, 夜間17:00～21:00

## <時間別利用>

時間帯	4月	5月	計	比	備考
9:00—	2,349	3,616	5,965	7.1	<div>↑</div> 昼間 <div>↓</div> 83.4%
10:00—	2,478	5,387	7,865	9.4	
11:00—	2,619	4,632	7,251	8.6	
12:00—	3,152	7,661	10,813	12.9	
13:00—	3,927	6,552	10,479	12.5	
14:00—	3,575	6,924	10,499	12.5	
15:00—	3,085	5,143	8,228	9.8	
16:00—	3,071	5,802	8,873	10.6	
17:00—	1,736	3,643	5,379	6.4	
18:00—	1,394	3,219	4,613	5.5	
19:00—	1,109	2,244	3,353	4.0	<div>↑</div> 夜間 <div>↓</div> 16.6%
20:00—21:00	192	402	594	0.7	
計	28,687	55,225	83,912	100.0	

## <曜日別利用>

曜日	4月	5月	計	比	備考
月	5,548	10,742	16,290	19.4	火曜日の利用 が最も多い 次いで水曜日 である。
火	5,377	13,511	18,888	22.5	
水	5,159	11,697	16,856	20.1	
木	5,610	5,537	11,147	13.3	
金	5,478	9,719	15,197	18.1	
土	1,515	4,019	5,534	6.6	
計	28,687	55,225	83,912	100.0	

註) この統計は、4, 5月分の入館者数を入館機の記録により作成したものである。新入生、大学生及び学外者については、「京都大学附属図書館利用証」(IDカード)が未交付であったため、学生票等の提示により入館している者が相当数あるので、実際の入館者は、これを大幅に上回っている。